



チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision

この子を救う。未来を救う。

NPL-196899

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

国情報

ネパール連邦民主共和国

インドと中国のチベット自治区に接する内陸国で、ヒマラヤ登山の玄関口として有名です。様々な民族が暮らす多民族国家で、民族とカーストが複雑に絡み合っています。公用語はネパール語ですが、各民族の言語も使われています。宗教はヒンドゥー教が主流ですが、仏教徒やイスラム教徒も暮らしています。



出典: 外務省



地域情報

西ドティ地域開発プログラム (NPL-196899)

支援期間: 2009年～2026年*

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都カトマンズから約450km西に位置する、スドウパシュチム・プラデーシュ州ドティ郡にて、プログラムを実施しています。標高1,000～3,000mの高地で、ネパールの中でも特に貧しい地域です。貧困や劣悪な衛生状態から、子どもの栄養不良や下痢が多く発生しています。現金収入を得るために、インドへ出稼ぎに行く住民が多い地域です。カースト差別や女性差別も問題となっています。支援地域では、チェトリ、ダリット(アウトカースト)、ブラーマン、先住民族など様々な民族が暮らし、宗教はヒンドゥー教が主流です。



地域の課題



起伏の激しい高地に位置し、交通が不便です

教育

- **学校に通っていない**
学齢期(1～8年生)の子どもの割合

約**12%***

- **子どもの教育の重要性を理解していない保護者が多い**

*2015年時点



支援地域の一般的な住居の様子。水道やトイレの整備が遅れているため、衛生状態が劣悪です



教育

親の教育への理解不足や、カースト差別、性差別、貧困、学校が遠いなどの理由で、8年間の基礎教育さえも受けていない子どもが少なくありません。教師も不足しており、質の高い授業の実施が困難です。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 子どもの識字能力向上に向けた教師への研修
- 子どもの学びに対する家族・地域のサポート強化の啓発
- 質の高い安全な学習環境へのアクセス向上
- 就学前教育・初等教育の質の向上に向けたアカウンタビリティの強化



子どもたちが質の高い教育を継続的に受けることができるよう支援します



机、クッションやカーペットが支給された教室の様子

支援は子どもたちの生活を変える力となります

アマルくんが通う学校は、コミュニティの中で大きく生徒が多くなりましたが、設備が整っておらず、ちゃんとしたイスも、先生が使う黒板も、昼食の前後に手を洗う水もありませんでした。

ワールド・ビジョンの支援を通し、子どもたちが衛生習慣を身につけられるよう、保健衛生の教育プログラムが始まりました。また、机やクッション、カーペット、消しやすく文字が読みやすいホワイトボードが支給しました。

蛇口からは清潔な水が飲めるように整備し、子どもたちの健康状態を維持できるようになりました。子どもたちは積極的に学校の清掃を行うようになり、過ごしやすく、勉強に集中できる環境が整った学校に変化しています。

ワールド・ビジョンは、アマルくんのような子どもたちが健やかに成長していけるよう、支援活動を行っています。



保健衛生の教育プログラムに参加した子どもたち